

日本のどこにも

米軍基地は 必要ない

山形市で沖縄連帯集会 基地被害の歴史・実態学ぶ



報告後、参加者の質問に答える山田さん=1日、山形市

1日のメーデー集会后、山形市内で「沖縄県民と連帯し、米軍基地のたらいまわしをやめさせる県民集会」が、県革新懇、安保放棄実行委員会など7団体の共同主催で開かれ、参加しました。

山田さんは、基地に長年苦しめられてきた沖縄県民の思いや、9万人を超える県内移設反対の県民大会(4/25)の様子について語り、「様々な立場の人

がいるが、県民の要求は、まず基地の閉鎖、

危険の除去であり、基地撤去が最も望ましい」と述べました。集会は、「普天間基地の無条件撤去、閉鎖」「安保条約・地位協定廃止」などを求める決議を採択しました。

参加者からは、「実態がよくわかった」などの感想が聞かれました。

私も認識を新たにしたい、その後の集会や街頭演説会で、気迫を込めて「日本に米軍基地はいらない」と訴えています。

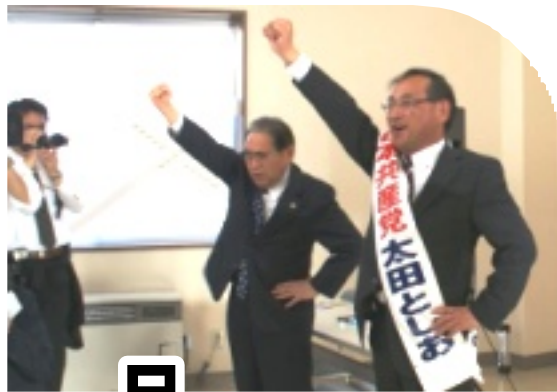
日本共産党訪米団(団長・志位和夫委員長は7日、アメリカ国務省と会談しました。志位委員長は、普天間基地問題について、「解決の道は無条件撤去しかない」「沖縄の海兵隊は、日本を守る抑止力」ではなく、イラクやアフガニ



2010年5月16日 第96号

発行 日本共産党県議会議員 渡辺 ゆり子

<連絡先> 日本共産党県議団執務室 電話 023-630-3241(受付) 自宅: 山形市青田2-10-5 電話 023-642-2365



太田としお事務所開き

代表 合同 比例 共同

8日、山形市深町に参院選の事務所が置かれ、約2カ月後に迫った参院選勝利へ決意を固めあいました(写真右)。選对本部長の本間和也・党直委員長のあいさつに続き、県後援会長の加藤實弁護士や各後援会代表、笹山一夫県議団長など地方議員が、次々と選挙勝利への思いを語りました。太田としお参院

日本共産党 参院選へ全力

選挙区候補は、各団体訪問や対話の経験を変えながら、「これまで自民党支持を決めていた団体が全方位へと変化し、どんどん政策・要望の意見交換ができる。住民の方々の対話では、『民主党は期待はずれ、今度は共産党だ』と声が寄せられる。日本共産党の議席を増やしたい。政治を変えたい」という思いを実現へ、私も大いに日本共産党の政策を訴え続けたいと決意しています。

「政治を変えたい」 思い実現へ決意

女性宣伝・母の日行動



9日の「母の日」、県内各地でにぎやかに日本共産党の女性宣伝行動が行われました(写真下)。山形市内では、私渡辺ゆり子と佐藤あき子市議が女性後援会の方々と、2台の宣伝カーでそれぞれ党の政策を訴え、「平和で安心して暮らせる社会を子どもたちにつなげよう」、「米軍基地はいらない。アメリカにも堂々と主張する日本共産党の議席を参院選で大きく」と宣伝しました。行き交う車や周辺の人から、多くの反応や激励をいただきました。

正社員があたりまえの社会を

ゆり子の視点

国会で、登録型派遣や製造業派遣の原則禁止を看板に、労働者派遣法の改定が審議されています。しかし、短期契約を繰り返して1年以上の見込みのある常用型派遣や、パソコン操作などを含む26専門業務は除外する「抜け穴」があり、8割の派遣労働者がはじかれると指摘されています。日本共産党は、経済危機打開の5つの提言の中で使い捨て労働を続ける「抜け穴」をキツパリとふさぐ派遣法の抜本改正を主張し、「正社員があたりまえの社会」を実現しようと訴えています。4月の県議会の閉会中委員会では、昨年から継続中の同趣旨の意見書提出を求める請願も審査されました。私は採択を主張しましたが、残念ながら継続となりました。しかし、4、5月と様々な方々と対話する中で、雇用改善は引き続き切実な課題となっていると感じています。非正規労働者が約3分の1を占める日本は、世界でも異常です。家庭生活も安定してつくっていくことができません。「こどもの日」「母の日」を通して、女性の方々の実感が聞こえてきました。男性も同様ではないでしょうか？